

令和6年度津地区医師会事業報告

はじめに

令和6年1月1日能登半島地震が、9月には能登豪雨災害と続き、お亡くなりになられた方々のご冥福と、今も被災生活を余儀なくされている皆様方にお見舞い申すとともに、一日も早い復興を祈念申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとガザ地区の紛争は停戦の兆しが見えず、また、アメリカ大統領選挙でトランプ氏が再選、我が国では自公の連立政権が揺らぐ等、世界の政治情勢は混沌としてきました。暗いニュースの中にあっても、パリオリンピック・パラリンピック大会での日本選手の活躍や米大リーグ大谷翔平選手の所属するロサンゼルスドジャースがワールドチャンピオンと彼自身ナショナル・リーグ最優秀選手に輝いたこと、ノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会が受賞されたこと、そして、7月3日に新紙幣として新千円札の肖像に、近代日本医学の礎を築いた北里柴三郎先生が採用されたこと、は明るい話題であったかと思えます。

さて、本年度の医師会事業は、5年ぶりに市民健康広場を11月10日三重大学大学院看護学専攻医学系研究科 老年看護学分野教授 磯和勅子先生に「フレイルとその予防」の講演会と体力測定などを実施し、50名の参加がありました。久しぶりの健康広場開催でしたが、歯科衛生士による口腔フレイル相談など、好評でした。

特定健診・特定保健指導・各種がん検診・学校健診・母子保健・産業保健など様々な健診事業に対して、全ての世代の健康を守るために着実に実施していくことができました。

救急医療対策事業については、一次救急に関しては、「津市応急クリニック」「津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック」ともに、順調に運営を行うことができました。津市における二次救急医療体制は、三重大学附属病院による二次輪番の参画や津市消防のM・O・Aによる柔軟な救急車対応により、救急搬送困難事例（救急車現場滞在時間30分以上または医療機関への受け入れ要請が4回以上）の割合が、かなり減少してきました。また、津市応急クリニックは、三重大学附属病院高度救命救急センターから研修医や医学部生等の実習の場として、毎週木曜日（祭日等を除く）に出務頂いております。こども応急クリニックも、三重病院や三重大学附属病院小児科医のご協力により、運営できております。津市行政・津保健所・津市消防と問題点を共有しつつ、各輪番病院や三重大学附属病院関係者皆様のご厚意により二次救急医療が成り立っていることに感謝申し上げます。

災害対策事業は、大規模災害対策委員会等を通して実施して参りました。令和6年11月16日津市総合防災訓練が実施され、土曜日の午前中でありましたが、会員皆様に安否確認メールを送り170件中49件の回答（29%）でした。8月8日には南海トラフ地震に関する情報が初めて発出されたことは、まだ記憶に新しい出来事かと思えます。いつ何時災害が我々の身にも降りかかるのか分かりません。津地区医師会災害メーリングリストにご登録活用のお願いと今後も訓練を重ねながら、回答数を増やしていくことが課題です。

広報事業は、理事会資料のペーパーレス化に取り組んでおり、厚生労働省や日本医師会・県行政からの文書連絡が増えており、会員皆さまには是非、津地区医師会メーリングリストへの登録をお願い致します。「安の津医報」は、毎号滞りなく発刊できました。

看護学校事業に関しましては、受験者数が大幅に減少したことに対する検証を行い、本年度は後期試験を再開し、少し効果を感じられたところでもあります。また、看護師国家試験は38名全員合格を達成致しました。講師陣および実習先関連病院の皆様方に感謝申し上げます。

地域包括支援センター事業・介護支援事業に関しましても例年通りの実績を上げて頂きました。

津地区医師会は、市民が健やかな生活を送ることができるように、生涯にわたり手助けを行うことで、国民皆保険を堅持しながら医療の恩恵を広く人々に還元することを目的として様々な事業を行ってきました。

公益事業としてⅠ. 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業 Ⅱ. 看護専門学校事業

Ⅲ. 地域包括支援センター事業 Ⅳ. 介護支援事業を執行してまいりました。これらの事業を滞りなく達成できたのは、会員各位のご理解・ご協力の賜物であると共に、日本医師会や三重県医師会との連携は勿論のこと、久居一志地区医師会・三重大学医師会・津歯科医師会・津薬剤師会・三重県看護協会そして津市行政機関との密接な関係を築くことできたからであります。

令和 6 年度事業報告にあたり会員各位はじめ関連団体の皆様、事務室関係各位のご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

それでは重点項目について、ご説明をいたします。

「特別重点項目」

1. 公益社団法人として市民の皆さまに向けた活動の展開
2. 救急医療体制の更なる充実
3. 大規模災害対策の推進
4. 感染予防や医療事故対策に貢献する医療安全対策
5. 多職種連携を取り入れた「かかりつけ医（主治医）」の機能強化
6. 地域医療構想・地域包括ケア関連事業

I 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業

住民の健康を通して地域社会の健全な発展を進めるため、医師の研鑽により医学水準の向上を図る医学教育、住民の健康増進に直接かかわる健康啓発・広報、健（検）診、予防接種、母子保健、学校保健、救急医療対策、介護保険制度円滑化対策、地域連携対策、災害対策、医療安全対策、産業保健の他、住民の健康を守る対策等を協議する医療関係団体等連絡調整など様々な事業を実施いたしました。

(各事業の概要)

(1) 医学教育事業

質の高い医療を提供し、住民の健康増進に寄与するため日頃から医師の自己研鑽が必要である。そのため、最新の知識と技術を学ぶ場として、また、住民の健康保持・増進を図るための専門知識と技能を整理する場として日本医師会生涯教育制度を活用し、医学研修会・講演会・症例検討会を開催いたしました。

なお、久居一志地区医師会とは密接に連携し、医学研修会等を共催するとともに、三重大学医学部の専門教室と共催して医師だけでなく医療関係者を対象になるべく多くの受講機会と専門分野にわたる知識の研鑽の場を提供いたしました。

また、医療の高度化による各専門分野での医学研鑽の重要性から、当医師会の内部に診療科別の医会を設けて研究活動を実施いたしました。

(2) 健康啓発・広報事業

市民を対象にした、健康づくりに関するの普及啓発事業を市民健康広場として、11月10日(日)に5年振りに開催しました。健康啓発講演会や健康測定、健康相談等に市民の方が参加され好評を得ることができました。また毎月発行の「安の津医報」は会員への情報提供や会員同士のコミュニケーションツールとして、皆様のご協力を得てより内容豊富なものにしたいと考えています。津地区医師会ホームページでは、ペーパーレス化を推進するために会員専用ページに充実化を図り、会員が必要とする情報を円滑に抽出する機能づくりに努めました。

(3) 健（検）診事業

津市から特定健康診査、健康増進法健康診査、後期高齢者健康診査、及び各種がん検診に係る事業を受託し、会員医療機関で検診を実施いたしました。令和元年より始まりました胃癌検診の二重読影も、7年目になりました。今年度も、感染防止対策を十分行って対応されることをお願いいたします。また読影医もこれまで 通り三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、遠山病院の専門医の先生にお願いしております。津市が実施する糖尿病性腎症重症化予防事業に当地区医師会の糖尿病専門医・腎臓専門医が参画して未治療者、治療中断者を医療機関の受診へつなげることを目指し、医療機関と連携して保健指導を行い、重症化の予防を図ります。

今年度は、5月15日に胃がん検診、5月29日に乳がん検診、6月5日に肺がん検診の研修会を予定しております。がん検診を行う医療機関の先生は、必ず出席するか、出席できなかったときは、医師会にてDVDによる自己研修を行ってください。

(4) 予防接種事業

津市から「予防接種法」に基づく定期予防接種の事業を受託し、感染防止の対策を図るとともに予防接種事業を行う医療機関に対し安全で確実な予防接種を行うための研修を実施いたしました。医療事故の無いよう行政とともに啓発活動を行いました。

コロナワクチンに関しては、令和6年3月31日で公費(無料)による特別臨時接種は終了し、令和6年度から高齢者に対する定期接種が始まりました。また、予防接種健康被害調査委員会にも委員として、2名が出席しております。

(5) 母子保健事業

津市が行う「母子保健法」に基づく1歳6か月及び3歳児健康診査の実施の際に小児科医師・耳鼻科医師・眼科医師を派遣し、適切な指導・助言を行うとともに、乳幼児に係る様々な課題を検討するため行政と定期的に検討会・勉強会を実施いたしました。令和4年度から、視覚スクリーニング検査（スポットビジョンスクリーナー）を新たに導入しました。また、津市からの委託により行っている出産前後の妊婦に対する「すこやか相談」（医療機関内での面接相談）の実施にあたり、協力機関等との調整を行いました。

医師会主催の乳幼児健診委員会を定期的に開催しました。5歳児健診委員会は、住民の悉皆調査に向けて令和5年度からの道筋ができました。

保健師・助産師・産婦人科・行政などと、ママ元気ネットワーク会議にも参加を要請され、多職種連携に努めました。

(6) 学校保健事業

津市教育委員会及び三重県教育委員会等からの要請により、保育園・幼稚園、小中学校及び高等学校に医師（小児・内科・眼科・耳鼻科）を派遣し、児童生徒に対し日常の健康指導を行うとともに、学校職員の健康指導も行いました。校医・園医等の資質向上のための研修会は現地開催で開催し、学校保健の向上に努めました。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に変更されたことに伴い、令和6年度以降の健康診断は通常健康診断内容に戻して実施することとしました。また、児童生徒の健康管理の徹底を図るため、津市教育委員会と委託契約を締結し、小学1・4年生及び中学1年生を対象に心臓検診を行いました。小学校の就学時検診は、大部分の児童をサオリーナに2日に分けて来てもらい、一斉に健診をしました。保護者の評判も良く今後もこの形式で就学時健診を行う予定です。運動器健診と、小学校1年生、4年生、中学校1年生が対象の心臓検診も順調に経緯しており、成果を出しています。文部科学省や三重県医師会からの通知により、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断となるよう、学校医と学校・幼稚園が相談して共通理解のもと実施しました。

新型コロナウイルス感染の流行以降、不登校傾向となる児童・生徒が増加していることもあり、児童・生徒

の「からだ」の健康の経過観察はもちろん、「こころ」の健康の経過観察に力を注いでいます。

また、今後増加すると考えられる「医療的ケア児」の幼稚園・保育所への入園、学校への入学に際しての体制構築に関して、教育委員会や各園・各校と協議を引き続きすすめていきます。

(7) 救急医療事業

ア) 一次救急対策

津市応急クリニックは、専任の看護師4人とともに順調に稼働しています。令和4年度から応急クリニックは、新型コロナウイルス抗原定性検査を実施し、感染症等の流行に対応できるよう努めています。また、三重大学附属病院高度救命救急センターから研修医や医学部生の実習の場として、毎週木曜日（祭日等を除く）に指導医とともに出務いただいております。円滑な診療体制を築いていただきました。

なお、令和6年度の年末年始に多くの方が来られ応急クリニックが混雑したことから、次年度から昼間の体制を2診体制として対応できるよう津市と協議を進めており、住民が安心して健康が保たれる医療環境の整備にこれまで以上に努めます。

- ① 成人の平日・日曜祝祭日・GW・お盆・年末年始の夜間診療（19:30～23:00）においてはこれまで通り津地区医師会と久居一志地区医師会合同で行います。
- ② 成人の日曜祝祭日・GW・年末年始の昼間診療（10:00～16:00）においては、「津市応急クリニック」は津地区医師会で「久居休日応急診療所」は久居一志地区医師会で運営しています。年末年始の当番は、「津市応急クリニック」で行なっています。
- ③ 小児は、大里の「津市子ども応急クリニック・休日デンタルクリニック」で、これまで通り津地区医師会と久居一志地区医師会の小児科医の先生方で運営されます。令和2年10月1日より受付時間に変更はありませんが、昼間の受付時間は、日曜日、祝・休日、12月31日～1月3日 10時～12時、13時～16時、夜間の診察受付時間は、毎日（365日）19時30分から22時30分で終了時間が23時までとなります。歯科診療は、これまで通り津市歯科医師会で運営されます。

イ) 二次救急医療対策

救急医療対策は喫緊の課題となっており、令和6年度から二次救急輪番病院は、永井病院、遠山病院、武内病院、岩崎病院、吉田クリニック、津生協病院、三重中央医療センターに、整形輪番病院として三重大学医学部附属病院が全日程に加わり輪番病院の強化が図られ、大門病院が輪番病院から外れました。また、輪番病院に加えて、三重病院、当医師会・久居一志地区医師会及び津市、三重県を構成メンバーとする二次救急医療体制協議委員会を設置し、救急医療対策の推進に努めていくとともに、特に医師の働き方改革を鑑みて、二次輪番病院の勤務医の疲弊が進まないように、大学病院からの医師派遣を調整するとともに一層の輪番体制の強化に努め、地域の救急医療の要望に的確に答えて参りました。

ウ) 救急医療機関活動

救急医療対策を少しでも充実させるため、救急病院・救急診療所として告示した医療機関に対して救急隊により搬送される傷病対応にかかる経費の一部を助成しました。

(8) 介護保険制度円滑化対策事業

津市の要請を受け、介護保険認定審査会の委員に会員が就任するとともに、主治医意見書作成にかかる研修会を実施し、介護保険制度の円滑な運営支援を行いました。さらに、行政、介護事業者及び医師会のメンバーからなる介護保険事業推進懇談会に参加し、介護保険制度の課題について検討を行いました。

(9) 地域連携対策事業

高度化、専門化している今日の医療現場において、医療機関相互の役割に応じた連携がますます必要となっており、特に病院と各診療所との連携は重要であります。多くの病院から医師会理事として医師会活動に参画いただき、それぞれの病院機能に応じた連携が構築されています。

また地域包括ケア委員会では津市在宅療養支援センターの事業を通して、久居一志地区医師会と協働して在宅医療・介護の地域連携をより確実なものとし、災害時の在宅医療・介護や口腔フレイル、ACP、病院からの在宅移行などにつき理解を深めるなど、日常の在宅医療に資する多様な事業を行いました。

(10) 災害対策事業

当医師会は、津市地域防災計画の救護班としての役割を担っており、津市総合防災訓練への参画や津市消防本部との意見交換を重ねており、大規模災害救護医療に関する対策委員会を組織し、行政との一層の連携の下、大規模災害時における市民の生命の安全を確保するための対策を推進するために、災害時における救急医療体制の検討を進めております。救護所の設置予定箇所等も順次決まっております。

(11) 医療安全対策事業

平成22年度から久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、県看護協会と合同で対策委員会を設置して最新の知識を有している講師を招聘し、合同医療安全研修会を開催し中小の医療機関の医療安全の推進に努めてまいりました。現在は、日本医師会の医療安全推進者養成講座等を利用するよう方向転換を致しました。予防接種打ち間違い事故予防のための啓発を、津市と連携して行っています。

(12) 女性医師対策事業

現在医学部の学生は1/3以上が女性です。近い将来、B会員のみならずA会員の女性の割合は増加していくと思われれます。結婚、出産、育児などのライフイベントに対応した労働環境の整備、休職、復職支援などの課題について、三重県医師会、日本医師会と連携し取り組んでまいります。

(13) 産業保健事業

産業保健活動総合支援事業により、従業員50人未満の小規模事業所の健康保持を担う地域産業保健センター事業を推進します。

これまで通り健康相談窓口、長時間労働者やストレスチェックテストで問題のあった労働者の面接指導、小規模事業場への個別訪問による産業保健指導などを推進していきます。特定健康相談は、延べ146名の先生に6,452件、長時間労働の面接は1名の先生に1件、訪問指導は27名の先生に712件行いました。働き方改革関連法が成立し、産業医・産業保健機能の強化や治療と仕事の両立支援等を推進することとなり今まで以上に産業医に求められる責務が高まっています。三重県医師会産業医部会で産業医研修連絡協議会との連携を図り、産業医に対する三重県産業保健研修会の受講を勧め、その資質向上を図り地域労働者の健康保持の増進に努めます。

(14) 医療関係団体等連絡調整事業

日本医師会及び三重県医師会との連携、並びに県内郡市医師会との情報交換を通じ、住民の健康を守るため、特に久居一志地区医師会とは津市2医師会連絡協議会を組織し、密接に連携して津市の保健事業を推進しました。また、津歯科医師会、津薬剤師会及び、久居一志地区医師会と共同で津市との政策懇談会を開き、市の健康福祉対策についての提言に対する意見交換会を行いました。

令和6年度地域の保健・福祉の向上による促進を図る事業の主な実績

(1) 医学教育事業

- ① 医学研修の充実と日本医師会生涯教育制度実践の強化
 - ・医学研修会等を58回開催（主催・共催49回、後援9回）
- ② 県医師会主催の産業医研修会への参加
- ③ 会員の資質の向上と会の活性化を図るため、各科医会及び研修会及び班別に情報交換会を開催
 - ・各科医会（9科）：整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、外科、耳鼻科、泌尿器科、眼科、内科
 - ・各班別（6班）：医師会内の地域を6地区に分けて班を構成

内 容	開催日
産業医スキルアップ実施研修	2024年7月21日

(2) 健康啓発・広報事業

- ① 市民健康広場（健康イベント）
（令和6年度「おとな部会」2024年11月10日開催）
 - ・市民健康広場（健康教育）委員会（2024.8.8 8.28 2025.3.13）
- ② 市民及び関係機関に関し、当医師会事業等の情報提供の状況
 - ・当医師会のインターネットホームページを随時更新
医療機関紹介掲載：令和7年3月末現在176件（検索方法—診察科目）
 - ・各会員の近況報告、情報交換などを目的とした医療情報ネットワークの開設

(3) 健（検）診事業

- ① 検診に関する下記の説明会・検討会・研修会

内 容	実施日
津市各種がん検診実施要領説明会	2024年6月27日（ハイブリット）
特定検診特定保健指導実施要領説明会	
津市国民健康保険特定保健指導（動機づけ支援）説明会	
津市特定保健指導研修会説明会	
津市胃がん検診二重読影にかかわる研修会	2024年5月16日

内 容	実施日
津市2医師会連絡協議会成人保健事業担当部会	2024年4月19日 9月27日 2025年1月22日
津市胃がん検診事業運営検討会	2024年12月26日
津市2医師会連絡協議会子宮がん検診ワーキング会議	2024年9月12日

- ② 令和6年度の検診事業に向けて、津市2医師会連絡協議会の成人保険事業担当部会
- ③ 特定健康診査、後期高齢者健康診査、健康増進法健康診査及び各種がん検診を実施
（がん検診の種類）
胃がん（内視鏡、X線）、大腸がん、前立腺がん、肺がん（喀痰、X線）
乳がん（マンモ、エコー）、子宮がん（頸部、頸部+体部）、肝炎ウイルス検査
（乳がん、肺がん及び胃がんの検診数）

- ・肺がん—19,241件、乳がん—5,612件
 - ・胃がん(内視鏡)7,064件、胃がん(X線)1,653件
- ④ 肺がん検診読影会の開催状況
- 肺がん検診研修会 (2024.5.23)
- ・読影会の回数：延べ14回
(2024.8月～12月の間毎月2回開催、2025.1～3月・4月の間毎月1回開催)
 - ・講師人数：毎回、三重大学医学部付属病院の講師4名を招聘
[健診受診者増加のため8月～12月は2グループに分けて実施]
 - ・読影に関して、デジタルデータ4台での二重読影と肺がんシャウカステン4台との同時読
- ⑤ 乳がん検診読影会の開催状況
- ・乳がん研修会の開催 (2024.6.20) 出席者：31名
 - ・読影会の開催数：延べ9回 (2024.8～2025.4月の間毎月1回開催)
 - ・講師人数：毎回、三重大学医学部付属病院の講師2名を招聘
- ⑥ 胃がん検診読影会の開催状況
- 胃内視鏡検査の二重読影はクラウドを使用し適宜行いました。
胃透視の読影会は月1回約3名の先生に二重読影を行っていただきました。
(内視鏡) 胃がん検診 (出席者 37機関)・読影会の開催 (講師人数2名)
(X線) 胃がん検診 (出席者 6機関)・読影会の開催 (講師人数3名)
- ⑦ 津市健康相談への医師派遣・協力状況

内 容	実施日
津市健康づくり推進懇話会	2024年6月6日、7月25日 10月3日 11月7日 2025年1月30日
食生活改善推進委員養成講座	2024年10月23日
健康づくり推進員養成講座	2024年7月2日
女性のための健康相談会へ担当理事が出席	(開催時は随時)
こころの健康相談への出席	(開催時は随時)

(4) 予防接種事業

内 容	実施日
予防接種協力医研修会の開催	2025年1月14日
津市2医師会連絡協議会の予防接種事業担当部会	2024年8月5日, 11月29日
予防接種健康被害調査委員会	2024年5月13日, 11月25日 2025年2月17日

(5) 母子保健事業

① 検診事業

- ・津市1歳6か月児検診の実施状況
津市中央保健センター：医師2名 2回/月 6回 1回/月 6回
久居保健センター：医師2名 年間18回 (津2名・7回)
- ・津市3歳児検診の実施状況
津市中央医療センター：医師2名 2回/月 10回 1回/月 2回
久居保健センター：医師2名 年間19回 (津2名・8回)
- ・津市3歳児耳鼻科検診の実施状況

- 津市中央保健センター：医師 1 名 2 回/月 22 回 (自宅アンケート確認含む)
- ・津市 3 歳児眼科検診の実施状況
- 津市中央保健センター：医師 1 名 1 回/月 12 回

② 事業会議・部会等

内 容	実施日
乳幼児健診部会・事例検討部会	(第一木曜日で5回開催)
2 医師会連絡協議会母子保健事業担当部会	2024 年 7 月 19 日, 11 月 18 日
津市児童虐待防止等ネットワーク代表者会議	2024 年 7 月 18 日
5 歳児検診等に係る検討会	2024 年 8 月 19 日
5 歳児健診におけるフォロー個別相談	2025 年 2 月 27 日
津市産後ケア事業会議	2024 年 10 月 31 日
第 2 回津市産後ケア事業協力機関連絡協議会	2025 年 2 月 20 日

(6) 学校保健事業

- ① 津市内の児童生徒及び学校職員に対しての健康指導の実施状況
- ・学校の派遣数＝小学校 (36 校) 中学校 (15 校)、幼稚園 (12 園)
保育園 (44 園) 幼保 (14 園) 高校・養護 (13 校)
 - ・医師の派遣人数＝小児 内科 (59 名)、眼科 (14 名)、耳鼻科 (14 名)
- ② 津市内の児童生徒
- (対象：小学校 1・4 学年・中学校の 1 学年) 転校者の心臓検診の状況
- ・受診人数＝小学校—2, 839 名、中学校 1, 393 名、合計 4, 232
 - ・心電図判読の結果、有所見者数 小学校 36 名、中学校 20 名、合計 56 名
 - ・心電図判読会に出席した医師人数 14 名
- (判読委員会の開催＝2024. 5. 24 2024. 6. 17 の 2 回実施)
- ・所見者がいる学校の養護教諭に対する心電図説明会を実施 (2024. 6. 28)
- 津市教育委員会は、有所見者が該当する学校長に対して「心電図検査所見者経過調査報告書」を作成し発送

内 容	実 施 日
津地区学校保健研修会	2025 年 1 月 28 日
津地域就学時健康診断	2024 年 11 月 7 日, 11 月 21 日
津市学校保健推進委員会	2025 年 2 月 6 日
津市学校保健会総会	2024 年 6 月 20 日

(7) 救急医療対策事業

- ① 津市応急診療所の運営に関わる情報交換 2024. 7. 2 12. 13 2025. 3. 21
- ② 津市夜間応急診療所の医師派遣状況
- ・津市応急クリニック (西丸の内 550)
当会員協力医師数 60 名、久居一志地区医師会 13 名、非会員 1 名
三重大学附属病院(毎週木曜日、年末年始等を除く)
 - ・津市子ども応急クリニック・休日デンタルクリニック (大里窪田町)
当会員協力医師数 10 名
- (他に久居一志地区医師会及び三重大学附属病院並びに三重病院の医師も協力) 津市歯科医師会医師

- ③ 津市応急診療所における休日（昼間）の診療
 - ・津市応急クリニック（西丸の内550） 当会員協力医師数59名、非会員1名
- ④ 5月連休・盆・年末年始の診療
 - 昼、夜津市応急クリニック及び津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニックにて診療
- ⑤ 二次救急関係

内 容	実 施 日
二次救急医療体制協議委員会	2024年7月22日, 2024年11月18日

構成団体：三重大学医学部附属病院、津地区医師会、三重中央医療センター、久居一志地区医師会並びに永井・遠山・武内・岩崎・吉田・津生協・6病院の協力により休日及び平日夜間の病院群輪番制にて二次救急を実施

- ・二次輪番病院特殊な事情に対する支援実績報告書について提出依頼(上、下半期)

(8) 介護保険制度円滑化対策事業

- ① 津安芸介護認定審査会委員は昨年度に引き続き、津市の被保険者の要介護認定、要支援認定等に係る審査及び判定等を実施（委員の人数：当会員48名、任期：令和6～8年度の2年間）
- ② 主治医意見書に関する研修会の開催（2025.3.4）
- ③ 令和6年度介護認定審査会委員新任研修会
- ④ 介護保険事業等検討委員会（2024.5.30 11.14 2025.2.20）及び担当ワーキング会議
- ⑤ 介護体制提供部会

(9) 地域連携対策事業

- ① 在宅医療の充実・連携を図るための下記の委員会・研修会等の開催

内 容	実 施 日
津市在宅支援センター運営協議会	2024年7月12日 2025年3月24日
津市在宅医療介護ネットワーク会議	2024年7月23日, 2025年3月14日
地域包括ケア推進講演会	2024年11月23日
マップ作成部会	2024年5月17日, 2025年1月27日
研修・啓発部会	2024年5月24日, 2025年2月4日

- ・津市内病院地域連携部署連合会議
（津ながる会議2025年2月7日・津のわの会議2024年10月17日）

- ② 多職種連携研修会

テーマ	実施日	参加人数
「大規模災害時の医療・介護連携～能登半島地震の支援から学びさらなる備えを考えよう～」	2024年6月20日	209名
「多職種連携で取り組む口腔ケア・栄養ケア」	2024年8月22日	201名
「段階に応じた継続的なACPを考える ～出会った時ときから始まっているACP～」	2024年10月3日	185名
「病院との切れ目のない連携を目指そう」	2024年12月5日	240名

- ③ 市民向け啓発

日 時：11月3日(土祝) 参加総数 98名

内 容：在宅医療サービスを物語風に解説した朗読劇
～在宅医療をご存じですか～PART4～

(10) 災害対策事業

津市が主催の下記会議

内 容	実施日
災害医療に係わる検討会議	2024年4月23日 7月30日 2025年2月3日
津市防災会議	2024年4月19日 11月8日 2025年2月7日
津市総合防災訓練	2024年11月16日
津市総合防災訓練に係る会議	2024年10月17日
津地域災害医療対策会議	2024年4月17日 7月30日 2025年2月3日
津市災害弔慰金支給審査委員会	2024年8月1日

三重県・県医師会他主催の会議訓練

内 容	実施日
三重県災害・救急医療対策協議会	2025年3月27日
地域別災害医療コーディネーター研修	2024年7月21日 2025年2月23日
三重大学病院防災訓練	2024年9月28日
郡市医師会災害医療担当理事連絡協議会	2024年5月23日 10月10日

津地区医師会委員会・訓練

内 容	実施日
津地区医師会大規模災害委員会	2024年8月28日
ACLS 研修会	2025年2月20日
防災研修会(气象台職員講師)	2024年5月16日
大規模災害メーリングリスト訓練	2024年11月16日

当医師会として災害発生に備え、下記のことを準備

- ・当医師会からの支給された災害緊急連絡用携帯電話機を設置
電話携帯者：会長、災害担当委員長、事務室 防災無線電話（津市より貸与）
- ・AED（半自動除細動機）1台（医師会館エントランス設置）
- ・防災用ビブス 173着（新規医療機関8着配布含む）

(11) 医療安全対策事業

定期的な講習会は中止していますが、日本医師会の医療安全推進者養成講座等で研修しました。

(12) 産業保健事業

- ① 津地域産業保健センター運営協議会（2024.10.3）
地域産業保健センター コーディネーター会議
産業保健研修会（産業医・産業保健機能の強化などのストレスチェックへの対応）
第45回産業保健活動推進全国会議に参加（2024.10.24）
- ② 津地域産業保健センター相談窓口の相談状況
 - ・特定健康相談（サテライト） 418件
 - ・長時間労働・高ストレス面談指導（サテライト）1件
 - ・個別訪問による産業保健指導 33件（ア）コーディネーターによる事業場訪問件数 86件
 - ・産業医アンケート実施

(13) 医療関係団体等連絡調整事業

津市との連携強化を図るため、下記の会議等に出席

・津市長と三師会との懇話会 開催日 2024. 10. 17

三師会構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会

(14) 感染症対策事業

内 容	実 施 日
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係るワーキング会議	2024年7月31日
郡市医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会	2024年7月31日
津地域感染症等危機管理ネットワーク会議	2024年11月12日

(15) その他

内 容	実 施 日
社会保険集団指導	2024年10月31日
津市国民健康保険運営協議会	2024年8月1日 2025年1月30日
臨床集団会	2024年11月7日
地域医療支援病院運営委員会(三重中央医療センター)	2024年6月5日 9月5日 12月5日 2025年3月6日
令和6年度津シティマラソン実行委員会	2024年8月8日 2025年3月27日
第17回津シティマラソン大会サオリーナ杯2024 医師の派遣	2025年2月9日
地域医療構想「意見交換会」	2025年2月25日
地域医療構想「調整会議」	2025年3月5日
津市自殺対策ネットワーク会議	2024年8月23日 2025年1月15日
津市地域連携ネットワーク会議	2024年7月11日 2025年1月9日
津市成年後見サポートセンター運営委員会	2024年9月19日
津市献血推進委員会	2024年8月23日
津市糖尿病性腎症化予防事業に係る会議	2024年5月28日 8月21日 3月28日
津市社会福祉事業団評議委員会	2024年6月27日
津市社会福祉大会	2025年1月23日
津市社会福祉協議会評議員会	2024年6月25日, 9月26日, 12月23日 2025年3月24日
津家庭裁判所委員会	2024年6月28日 2025年2月25日
津高齢者虐待防止等及び高齢者見守りに関するネットワーク全体会議	2024年11月12日
サイバーセキュリティーセミナー	2024年8月1日
三重パープルリボン ウォーク&セミナー2024in 津	2024年9月15日
津地区医師会・津警察署意見懇談会	2024年10月3日
地域難病相談会へ医師の派遣	2024年10月1日

II 看護専門学校事業

看護を取り巻く環境は、近年の少子高齢化において、人々の健康に対するニーズや価値観の多様化・個別化する一方、医療の高度化・専門化・疾病構造などの変化が著しい中、それらに適切に対応できる質の高い看護師を養成し、地域の医療・保健・福祉の向上に寄与することを目的に事業を実施致しました。

〔事業の概要〕

全国的にも社会問題となっている看護師不足の現状を踏まえ、豊かな人間性あふれる専門職業人として、生涯にわたり自己研磨できる能力を備えるとともに、「和顔愛語（わげんあいご）」の精神をもって看護を実践できる看護師を育成してまいりました。

※ 和顔愛語とは、仏教用語で一般的に解釈すれば「優しい顔つきと温かい言葉」だが、本来この言葉は、単に顔つきと言葉遣いについて言っているものではなく、「何ものをも受け入れる寛容のこころと慈悲の愛にあふれた暖かい言葉（こころ）」、つまり、人は「利他のこころ」を備えるべきであることを表した言葉で、本校ではこの精神を全カリキュラムのなかに取り入れている。

※ 教育目標

- 1) 生命の尊厳・人格の尊重を基盤とした人間理解と病気や苦難の体験の意味を考えることのできる能力を養います。
- 2) 看護に必要な専門的知識、技術、態度を学び、応用できる能力を養います。
- 3) 看護師としての役割を理解し、多職種と連携しながら、多様な場で生活する人々へ看護を提供する基礎的能力を養います。
- 4) 看護師として人間関係を形成するために必要な感性とコミュニケーション能力を養います。
- 5) 自己成長のために自己研鑽できる看護師を育成します。

なお、令和6年度卒業生の就職状況は次のとおりでした。

卒業生 37名(内訳)

1. 津市内医療機関	24名
2. 津市以外の県内医療機関	12名
3. 進学	1名
4. 県外医療機関	0名

また、令和6年度の運営業務報告は次のとおりでした。

令和6年度三重看護専門学校の運営業務報告

【学校年間行事等】

- ・ 領域別実習始（3年生）（2024.4.1）
- ・ 第21回入学式（2024.4.4） 第21期生 40名入学（男子2名、女子38名）
- ・ 新入生ガイダンス（2024.4.5）
- ・ 前期授業始（2024.4.8）

- ・ 地震避難訓練の実施 (2024. 4. 8) 地震(津波)を想定して偕楽公園へ徒歩にて避難 (1年生)
- ・ 定期健康診断 (1・3年生) (2024. 4. 10)
- ・ 新入生歓迎会 (2024. 4. 11)
- ・ 奨学金説明会 (日本学生支援機構・三重県看護師等修学資金) (2024. 4. 15)
1年生5名、2年生1名参加
- ・ 1年生親睦会を実施 (2024. 5. 8)
- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金採用時 (高校予約) 説明会 (2024. 6. 3)
- ・ 日本学生支援機構給付奨学金採用時 (高校予約) 説明会 (2024. 6. 5)
- ・ 日本学生支援機構奨学金採用時 (高校予約) 説明会 (2024. 6. 26)
- ・ 津地区医師会奨学生募集説明会 (2024. 6. 26)
- ・ 日本学生支援機構奨学金採用時 (高校予約) 説明会 (2024. 7. 3)
3医療機関 1年生及び2年生 47名出席
- ・ 研修旅行 (2024. 7. 10) 2年生 40名参加 神戸市「人と防災未来センター」他
- ・ 防犯教育・防火訓練の実施 (2024. 7. 25) 1年生参加
- ・ 第1回オープンキャンパス開催 (2024. 7. 27) 来場者数73名
- ・ 夏季休業 (2024. 8. 1～2024. 8. 31)
- ・ 豊野みかんの里夏祭りボランティア 1年生11名参加 (2024. 8. 3)
- ・ 第2回オープンキャンパス開催 (2024. 8. 4) 参加者数93名
- ・ 鈴鹿厚生病院夏祭りボランティア 1年生7名参加 (2024. 8. 8)
- ・ 学生防災委員物品搬出訓練 (2024. 9. 4)
- ・ 基礎看護学実習 I-1 (2024. 9. 19)
- ・ 領域別実習終了 (3年生) (2024. 9. 20)
- ・ 定期健康診断 (2年生) (2024. 9. 27)
- ・ 前期授業終 (2024. 9. 30)
- ・ 後期授業始 (2024. 10. 1)
- ・ 看護の統合実習 (2024. 10. 3～10. 18)
- ・ 基礎看護学実習 I-2 (2024. 10. 18～10. 25)
- ・ 鈴鹿厚生病院 病院祭ボランティア 3年生6名参加 (2024. 10. 19)
- ・ 基礎看護学実習 II (2024. 10. 28～11. 14)
- ・ 学生主催スポーツ大会 2年生参加 (2024. 11. 27)
- ・ 日本学生支援機構返還説明会 3年生5名参加 (2024. 12. 2)
- ・ 地震避難訓練についての学習会 全学年参加 (2024. 12. 12)
- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金適格認定説明会 (2024. 12. 11) 1年生8名、2年生8名参加
- ・ クリスマス会 (3年生) (2024. 12. 23)
- ・ 冬季休業 (2024. 12. 25～2025. 1. 7)
- ・ 領域別実習始 (2年生) (2025. 1. 14～3. 14)
- ・ 看護師国家試験壮行会 全学年 (2025. 2. 6)
- ・ 第114回看護師国家試験 (2025. 2. 16) 卒業予定者37名受験
- ・ 同窓会説明 (3年生) (2025. 2. 17)
- ・ 第19回卒業式 (2025. 3. 6) 卒業生37名 (女子34名、男子3名)
- ・ 実習室備品点検 (2025. 3. 17)
- ・ 図書(蔵書)点検 (2025. 3. 17)
- ・ 第114回看護師国家試験合格発表 (2025. 3. 24) 卒業生37名受験 37名全員合格 (合格率100%)
- ・ 春季休業 (2025. 3. 25～4. 7)

【第22期生 令和7年度学生募集】

- ・ 令和7年度学生募集要項出来上がる (2024. 5. 7)
- ・ 業者主催の進学相談会に参加 (2024. 5. 17、6. 11、6. 12、6. 14、7. 9、12. 19)
- ・ みえ看護フェスタ 2024 40組来ブース (2024. 5. 12)
- ・ 第1回高校訪問 (2024. 6. 6～7. 8) 三重県内公立・私立高等学校 37校を訪問
- ・ 第2回高校訪問 (2024. 11. 29, 12. 5, 12. 6) 県立高校2校、私立高校1校を訪問
- ・ 三重県内公立・私立高等学校40校へオープンキャンパスポスターを送付 (2024. 6. 5)
- ・ 津地区医師会各医療機関へ学生募集要項、学校案内パンフレット、オープンキャンパスポスター、チラシ送付 (2024. 6. 14)
- ・ 社会人A日程入学試験願書受付 (2024. 8. 19～8. 30) 出願者：社会人A日程入学 3名
- ・ 社会人A日程入学試験実施 (2024. 9. 8) 受験者：社会人A日程入学 3名
- ・ 社会人A日程入学試験合格発表 (2024. 9. 24) 合格者：社会人A日程入学 1名
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学試験願書受付 (2024. 10. 1～10. 10)
出願者：学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学 30名
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学試験実施 (2024. 10. 19)
受験者：学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学 30名
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学試験合格発表 (2024. 10. 30)
合格者：学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学 29名
- ・ 一般(前期)入学試験願書受付 (2024. 10. 30～11. 12) 出願者：一般(前期)入学 4名
- ・ 一般(前期)入学試験実施 (2024. 11. 16) 受験者：一般(前期)入学 4名
- ・ 一般(前期)入学試験合格発表 (2024. 12. 2) 合格者：一般(前期)入学 2名
- ・ 一般(後期)入学試験願書受付 (2024. 12. 16～2025. 1. 22) 出願者：一般(後期)入学 6名
- ・ 一般(後期)入学試験実施 (2025. 1. 22) 受験者：一般(後期)入学 6名
- ・ 一般(後期)入学試験合格発表 (2025. 2. 3) 合格者：一般(前期)入学 4名
- ・ 一般(追加)入学試験原書受付 (2025. 2. 4～3. 4) 出願者：一般(追加)入学 3名
- ・ 一般(追加)入学試験実施 (2025. 3. 10) 受験者：一般(追加)入学 3名
- ・ 一般(追加)入学試験合格発表 (2025. 3. 14) 合格者：一般(追加)入学 1名

【諸会議等】

- ・ 運営会議 14回開催 (2024. 5. 22、6. 25、7. 31、8. 23、8. 29、9. 18、9. 30、11. 22、2025. 1. 29、2. 13、2. 26、3. 11、3. 26、3. 29)
- ・ 教務会議 11回開催 (月1～2回程度開催)
- ・ 職員会議 1回開催 (2024. 4. 2)
- ・ 学債委員会 1回開催 (2024. 9. 11)
- ・ 自己点検・評価委員会 1回開催 (2025. 3. 13)
- ・ 入学試験委員会 5回開催 (2024. 7. 31、9. 18、10. 23、11. 22、2025. 1. 29、3. 26)
- ・ 学生委員会 1回開催 (2025. 3. 13)
- ・ 学校関係者評価委員会 1回開催 (2025. 3. 19)
- ・ 入試編成・検討委員会 2回開催 (2024. 12. 9、2025. 1. 8)

【その他主な学校業務等】

- ・ 令和6年度三重県看護学校校長会 総会 (2024. 6. 27)

Ⅲ 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士が相互連携しつつ業務を行います。

津市では、令和2年4月より1か所新設され市内10か所となっています。当包括支援センターは平成21年8月から委託を受けていますが、令和2年度から担当地域が橋北・東橋内地区から橋北・北郊地区に変わり、引き続き担当地域の高齢者に対して、心身の健康の保持並びに生活の安定を図るため事業の実施に当たってきました。

〔令和6年度事業の概要〕

職員体制は保健師2名、主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、社会福祉主事1名でした。コロナ禍で高齢者が外出を控えていたためか、心身共に機能低下を感じ相談される方や夏の気温上昇のなどで体調を崩される方が多くみえます。高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し要介護状態とならないよう相談や支援を行うとともに、要介護状態となった場合でも必要なサービスが提供されるよう介護支援専門員など関係者の連携体制の構築を図り事業を進めてきました。

研修会等は参集やWEBなどにより、参加しました。

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防に関する知識の普及・啓発を図り、パンフレットの作成をしました。老人会や地域のサロン等から健康講話の依頼を受け介護保険や体操などを行いました。「包括だより」を3回発行し地域に回覧をしました。白塚地区社協より、年間3回発行の「白塚社協だより」への掲載依頼があり、介護予防などについて掲載させていただきました。

橋北地区のスクエアステップ教室、ダンス教室、地域の健康教室等は、事故や感染症に留意しながら通年開催することができました。

(2) 総合相談支援事業

地域に住む高齢者および親族等の相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援に取り組みました。高齢者を取り巻く問題も多様化しており、多職種の方との連携が必要になってきています。

判断能力が低下した高齢者の状況を把握し、成年後見制度や自立支援事業の利用を勧めました。また、虐待の報告や相談を受け、状況確認や面談を行うなど虐待防止に努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための連携体制づくりとして、津市在宅療養支援センターや関係機関と共に在宅医療・介護連携に取り組みました。また、圏域内の居宅介護支援事業所を対象に、事例検討会を開催し、介護支援専門員が抱える支援困難事案について後方支援を行いました。

(4) 指定介護予防支援事業

要支援者に対する介護予防サービス計画の作成とサービス提供の調整を行いました。また、居宅介護支援事業所と連携を図り介護予防サービス計画の委託を行いました。

(5) その他の事業

- ・他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築、地域ケア会議の開催
- ・地域で認知症を理解し、認知症とその家族を見守る認知症サポーターの養成講座を開催しました。

特に白塚地域では地区社協と協力し各サロンや小学校、自治会長、民生児童委員に向け、認知症予防についての講話をしました。

- ・津市内地域包括支援センターの合同行事に参加、津市内の地域包括支援センターとしての統一を図りました。
- ・平成 29 年度から「津市認知症施策総合推進事業」の委託を受け、「認知症地域支援推進員」としての活動をしました。

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

【当包括主催事業】

- | | | | | |
|--------------------------|------|------|------|---------|
| ・ダンス教室（毎月 1 回） | 開催回数 | 12 回 | 参加者数 | 延 224 人 |
| ・スクエアステップ（毎月 1 回） | 開催回数 | 10 回 | 参加者数 | 延 214 人 |
| ・上浜団地健康教室（毎月 1 回） | 開催回数 | 12 回 | 参加者数 | 延 47 人 |
| ・「包括だより」発行（4 月、11 月、2 月） | | | | |

【健康教室依頼事業】

- ・17 団体 延 19 回 延 322 名
- ・「白塚社協だより」掲載（7 月、12 月、2 月）

(2) 総合相談支援事業

- ・相談件数 延 3,810 件
- ・虐待対応 6 件
- ・アウトリーチ 11 件

（支援が必要であるにもかかわらず支援につながっておらず、働きかけているケース）

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ・津市在宅医療・介護連携の推進 部会・研修会 9 回参加
- ・担当地域内居宅会議支援事業所意見交換会 4 回開催
- ・ケアマネ後方支援 10 件

(4) 指定介護予防支援事業

- ・直営予防ケアプラン作成件数 延 129 件
- ・委託予防ケアプラン件数 延 2,569 件

(5) その他の事業

- ・他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
- ・地域ケア会議 9 回開催
- ・民生・児童委員定例会参加 2 地域 7 回
- ・認知症サポーター養成講座 4 団体に対し 8 回開催 延 125 名参加
- ・地域密着型事業所運営推進会議出席 3 施設 5 回
- ・24 時間体制携帯電話設置
- ・津市内地域包括支援センターセンター長会議（年 6 回）
- ・津市内地域包括支援センター各職種専門部会（3 職種各年 4~6 回）
- ・認知症地域支援推進員活動
 - 認知症地域支援推進員会議（12 回）
 - 認知症カフェ参加（16 回）
 - 認知症サポーターステップアップ講座（3 回）
 - 認知症カフェ交流会（1 回）
 - チームオレンジ・あしたば全体会（3 回）
 - 認知症普及啓発活動（4 回）

- ・認知症事例相談会・世話人会（6回）
- ・中勢認知症集団会・世話人会（2回）

IV 介護支援事業

超高齢社会の進展により、家庭で療養する高齢者が増加し、在宅・介護のニーズや、がん末期患者のターミナルケア等の在宅療養のニーズの増加に対応するため、当医師会は平成4年に県下で初めて訪問看護ステーションを立ち上げました。更に、平成12年に居宅介護支援事業も開始するとともに、当医師会においては、在宅医療を担う医療機関の機能強化や多職種を含めた連携の重要性から在宅医療委員会を立ち上げ、増大している在宅医療に適確に対応するため、当訪問看護ステーション事業と居宅介護支援事業はその要として、大きな役割を担ってきました。

なお、在宅医療・看護を「住み慣れた地域での生活を支える」という共通の目的を達成する手段と位置付けられることから、在宅医療と看護を一つの事業として実施してきました。

〔事業の概要〕

（1）訪問看護ステーション事業

訪問看護は、高齢になっても健康管理をして自分らしく暮らしたい 病気や障がいがあっても、がん・老衰などで終末期になっても、住み慣れたご自宅で生活したい、できれば看取りもかなえたい そんなご本人やご家族の思いを、医師の指示を受け療養生活の援助・指導・医療的処置・終末期医療及びリハビリテーション等を看護師がご自宅に訪問して行う支援サービスです。

又、地域の看護教育支援のため、三重県立看護大学、三重看護専門学校の看護実習生を受け入れ、併設の介護支援センターとともに人材育成に貢献しております。

（2）居宅介護支援事業

介護支援センターは、介護支援専門員（ケアマネージャー）が介護保険の要介護認定者に対して自宅において必要な居宅サービスを適切に利用できるように心身の状況等を勘案して「居宅サービス計画（ケアプラン）」を作成しその計画に従ったサービスが提供されるように「サービス担当者会議」の開催など事業者等との連絡調整を行っています。なお、当医師会の運営であることや介護支援専門員が保健師の資格を有していることなどから、医療依存度の高い相談が寄せられることが多く常に利用者の立場に立ち、公正かつ誠実に対応し、医療機関等と綿密に連携して居宅サービス計画を作成して参ります。

また、財団法人介護労働安定センターが行う介護職員基礎研修会へ介護支援専門員を講師として派遣するなど、介護に係る人材育成に寄与するとともに、当医師会訪問看護ステーションと同様に看護学校の実習生受け入れを行い看護師の養成にも貢献しております。

令和6年度訪問看護ステーション事業実績報告

会議

- ・担当理事に事業実績報告（毎月第2木曜日）
- ・月例ステーション会議（毎月第2金曜日）
- ・三重県訪問看護ステーション津地区管理者会議（毎月第3水曜日）
- ・地域ケア会議
- ・津地区医師会管理者連絡会議
- ・虐待防止検討委員会

研修会

- ・多職種連携研修会
- ・地域連携研修会
- ・三重県訪問看護ステーション協議会ブロック研修・津地区研修
- ・三重県・難病研修会
- ・三重大学医学部附属病院主催 緩和ケアセミナー
- ・暴力・ハラスメント対策研修
- ・高齢者虐待防止措置研修
- ・感染症・食中毒の予防まん延防止研修
- ・新興感染症対応力強化研修
- ・自然災害研修
- ・認知症ケア研修
- ・レセプト基本知識と制度の仕組み、オンライン請求講座研修
- ・交通安全セミナー
- ・腹膜透析研修
- ・事例検討会 勉強会

その他

- ・健康診断
- ・三重看護専門学校・三重県立看護大学実習受け入れ
- ・三師届提出
- ・感染症法に基づく医療措置協定報告
- ・津地区医師会合同避難訓練参加
- ・BCP 非常災害編・感染症編訓練

(運営状況)

職員 (看護師 1 名退職 4 名) 事務員 1 名)
利用者数 延べ 497 名 (医療 98 名 介護 399 名)
訪問回数 延べ 2423 回 (医療 587 回 介護 1836 回)
休日訪問 医療 16 回 介護 43 回
緊急訪問 51 回
サービス担当者会議 58 回
退院時共同指導カンファレンス 8 回
在宅患者緊急時カンファレンス 7 回
ターミナルケア 5 名

令和 6 年度居宅介護支援センター事業報告書

会議

- ・担当理事に事業報告(毎月第 2 木曜日)
- ・月例ケアマネカンファレンス(国保連に伝送後・毎月 10 日前後)
- ・津地区医師会管理者連絡会議
- ・虐待防止検討委員会
- ・地域ケア会議

研修会

- ・「職場におけるハラスメント対策」
- ・感染症及び自然災害におけるBCP研修「防災訓練～避難経路の確認～」
- ・「定期巡回サービスにおける退院支援」オンライン研修
- ・「高齢者虐待防止に実践と解説」
- ・「津のわ」の会議
- ・「認知症のポジティブケア」
- ・包括支援センター主催「困難事例意見交換会」
- ・「災害に遭われたご利用者・ご家族をどのように支援していけばよいか」
- ・「令和6年度介護報酬改定を含めた留意事項について」
- ・包括支援センター主催「大人の発達障害について」
- ・「介護保険制度改正解説セミナー」オンライン研修

その他

- ・健康診断
- ・津地区医師会合同避難訓練参加
- ・三重看護専門学校 在宅看護方法論Ⅲ 講師
- ・三重看護専門学校・三重県立看護大学訪問看護実習補助
- ・認定調査実施状況 48件（伊賀市、名張市、桑名市、度会広域連合、京都市、吹田市、和歌山市、滋賀県日野町、東京烏山総合支所）

職員 介護支援専門員 3名（保健師1名 主任介護支援専門員1名 介護福祉士 1名）

要介護プラン 1, 185件

要支援プラン 219件（外部委託62件、内部委託157件）

サービス担当者会議 182件

リハビリ会議 14件

医療連携 41件

V 会館利用状況

当医師会館の一部を、産業保健センターの事務室として長期貸し出しをするとともに、講堂、会議室等を医療関係者が必要とする場合個別貸し出しをし、使用に必要な備品についても貸し出しました。

[主な貸出状況]

- ・年間契約による貸出状況 津地域保健センター
- ・個別貸出（講堂等）状況

令和6年度の貸出として外部貸出5件、包括支援センターへのダンス教室・スクエアステップ教室等の貸出となりました。

VI 相互扶助事業

(1) 全会員に対して医師会の情報提供及び連絡調整を行いました。

[主な事業実績]

- ・毎月発行の「安の津医報」で会員相互の情報交換の案内
- ・県医師会広報への協力
- ・地域別班活動の調整事業

(2) 会員の相互扶助と福祉増進に努めました。

[主な事業実績]

- ・会員及びその家族への慶弔
- ・会員及びその家族が参加し、研修旅行を実施
- ・各種クラブへの助成
- ・医師国民健康保険組合の健康診断料の一部助成